

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587018101	科目番号 / Subject code	05870181
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12921_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会生活 (環境と社会運動) / environment and social movements		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 保坂 稔 / Hosaka Minoru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 保坂 稔 / Hosaka Minoru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育、経済、薬学、水産、1 - 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	戸田 toda@nagasaki-u.ac.jp 保坂 hosaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部4階 戸田教員室は環404、保坂教員室は環427		
担当教員TEL / Tel	戸田095-819-2726 保坂095-819-2728		
担当教員オフィスアワー / Office hours	戸田金曜16-17時 保坂木曜9時30分-10時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。全学モジュール科目「人間と環境」の選択科目		
授業到達目標 / Goal	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる。企業、行政、専門家、市民の役割や対立点を説明できるようになることも目指す。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教科書、プリント、映像などを用いて授業を行う。毎回レスポンスペーパーを記入し、それに対するコメントや討論を踏まえて講義する。口頭や質問感想用紙での積極的な質問や発言を期待したい。		
授業内容 / Class outline / Con	前半の7回(保坂)は環境問題の分析について環境社会学的な見方を深める。後半の7回(戸田)は具体的な事例を通じて環境社会学を学ぶ。15回目はまとめ。16回目は定期試験。 1 社会運動分析 環境社会学への誘い 2 社会運動論 緑の党 3 エコファシズム 4 宗教への視点 5 環境運動と地域 フレーム分析 6 公共圏 7 環境運動と政治意識 8 水俣病 公害の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか 9 水俣病その2 10 カネミ油症 40年かかってわずかな前進 11 原発事故と原発被曝労働 12 ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊 13 農業問題 とくにネオニコチノイド系 14 遺伝子組み換え作物 15 まとめ 16 定期試験		
キーワード / Key word	公共圏、リスク社会、社会的ジレンマ、オルタナティブ運動、水俣病、カネミ油症、原発事故、受苦圏と受益圏		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は、戸田清『環境正義と平和』法律文化社2009年 参考書は適宜紹介する。プリント配布、映像の視聴を行う。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験80%、レポート20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	授業外でも環境問題に関心を持ち、新聞を読むこと(週平均2時間程度)。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなりうる社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 電話095-819-2006 FAX095-819-2948 電子メール support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com">http://todakiyosi.web.fc2.com</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	教科書を通読すること。講義内容を図書館利用やインターネットで深めてほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

1	4月8日3校時	社会運動分析 環境社会学への誘い
2	4月8日4校時	社会運動論 緑の党
3	4月15日3校時	エコファシズム
4	4月15日4校時	宗教への視点
5	4月22日3校時	環境運動と地域 フレーム分析
6	4月22日4校時	公共圏
7	5月6日3校時	環境運動と政治意識
8	5月6日4校時	水俣病 公害の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか
9	5月13日3校時	水俣病その2
10	5月13日4校時	カネミ油症 40年かかってわずかな前進
11	5月20日3校時	原発事故と原発被曝労働
12	5月20日4校時	ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊
13	5月27日3校時	農業問題 特にネオニコチノイド系
14	5月27日4校時	遺伝子組み換え作物
15	6月3日3校時	まとめ
16	6月3日4校時	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587018501	科目番号 / Subject code	05870185
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12931_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会生活 (環境問題の歴史から学ぶ) / The History of Environmental Problems		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	関 陽子 / Seki Yoko, 宮西 隆幸 / Miyanishi Takayuki, 保坂 稔 / Hosaka Minoru, 太田 貴大 / Ota Takahiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	関 陽子 / Seki Yoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	関 陽子 / Seki Yoko, 宮西 隆幸 / Miyanishi Takayuki, 太田 貴大 / Ota Takahiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yokoseki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部 4 回 4 2 5 室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2736		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金 1・2 限 質問等はEメールでも受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	一般に環境問題は80年代以降世界的に知られるようになったと言われているが、それ以前にも大規模な自然破壊や、これにともなう生体の健康に与える深刻な影響が報告されている。この講義ではそれらの事例を踏まえながら、環境保護をうたえる立場を模索することとする。		
授業到達目標 / Goal	80年代以前の環境問題の歴史について説明できる能力を身につける。おもに分子生理学、マクロ生物学、環境思想のそれぞれの領域から、日本や海外の過去の環境問題について把握できるようにする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的に講義形式で行うが、毎回レスポンスペーパーを記入し、それに対するコメントや討議をふまえて講義をすすめる。		
授業内容 / Class outline / Con	最初に分子生理学の観点から人間の身体と環境に与える影響を、次に人間活動が生物種に与える影響を、最後に思想やイデオロギーの影響について着目する。		
キーワード / Key word	環境破壊、環境影響因子、社会システム		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。資料は必要に応じて配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各講義ごとのレポートによる評価 (授業内の課題100%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	授業外でも環境問題に関心を持ち、記事などを読むこと (週平均2時間程度)		
アクセシビリティ / Accessibility	アクセシビリティ  長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	今日の世界的な時事問題を考えるにあたって、何が問題なのかを考える視点を習得してゆきましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1	イントロダクション 環境破壊の論理 人間にとって自然とは何か		
2	80年代以前の環境問題の歴史		
3	近代システムと人間の生活		
4	捕鯨問題を考える 自然の道具的利用		
5	公害の構造 "弱者" からの環境問題		
6	まとめ		
7	有史以前のフクロオオカミ絶滅の原因は、ヒトかデインゴか? その1		
8	有史以前のフクロオオカミ絶滅の原因は、ヒトかデインゴか? その2		
9	有史以前のフクロオオカミ絶滅の原因は、ヒトかデインゴか? その3		
10	後期更新世の巨大哺乳類大量絶滅の原因は、ヒトか環境か? その1		
11	後期更新世の巨大哺乳類大量絶滅の原因は、ヒトか環境か? その2		

12	後期更新世の巨大哺乳類大量絶滅の原因は、ヒトか環境か？ その3
13	生存環境について
14	環境変動への生物の適応
15	環境因子の生物へのインパクト事例/ 環境問題発生の抑制における社会と個人の責任

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587043701	科目番号 / Subject code	05870437
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12911_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会生活 (生態系と社会) / Ecosystem and society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	杉村 乾 / Ken Sugimura, 保坂 稔 / Hosaka Minoru, 堀江 哲也 / Tetsuya Horie		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	杉村 乾 / Ken Sugimura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	杉村 乾 / Ken Sugimura		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-sugimura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環426		
担当教員TEL / Tel	095-819-2719		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日午前10時半 ~ 12時、木曜日午前10時半 ~ 12時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	最初に、生態系、生態系機能、生態系サービスについて一般論として説明した後、生態系サービスについて個別に説明する。その後、社会の方へ力点を置き、持続的な社会を維持するための経済的な仕組み、法や制度、地域の取り組みなどについて紹介し、環境問題に関連する対策について説明する。		
授業到達目標 / Goal	生態系、生態系機能、生態系サービス、社会的な取り組みなどについて、一般論や典型的な事例などを提示しつつ、基礎的なことを学び、生態系が人間社会にとって欠かせない、環境の重要な要素となっていることが説明できる。また、生態系と社会の関係が現代の環境問題とどのように深く関わっているか、基礎的なことが説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	パワーポイントを用い、図や写真などを多用して、視覚的にわかりやすく解説する。授業に用いたスライドはLACSに掲載し、予習・復習に役立てる。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>イントロダクション、環境問題とは何か  生態系についてのごく基本的なことを知る  生態系の働き：ごく基本的なこと  生態系サービスについて  生態系サービスと環境問題 (1) 環境汚染  生態系サービスと環境問題 (2) 地球温暖化  生態系サービスと環境問題 (3) 自然保護と生物多様性  地域の生態系と社会：日本の特徴  地域の生態系と社会：温帯、亜寒帯域  地域の生態系と社会：熱帯  地域の生態系と社会：島  地域の生態系と社会：里地里山  生態系の保護と管理：法律、条約、地域計画など  生態系の保護と管理：自然保護区の設定と管理  環境保全への取り組み：環境影響評価、森林認証、CSRなど  レポート作成と評価</p>		
キーワード / Key word	生態系サービス、環境問題		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	なし		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業内容のまとめノート (100%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	授業時間外学習に充てる時間が3時間ある		
アクセシビリティ / Accessibility	資料をLACSに掲載する 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	とくになし		
学生へのメッセージ / Message for students	地球規模の気候変動、生物多様性の急激な低下、様々な災害から生活環境の快適性に至るまで、生態系は我々の生活に大きく関わっています。ここで学ぶことは初歩的なことですが、大事な知識の1頁に加えましょう。		